

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	44	入居者の方々が体を動かすことが減ってきている。また、便秘の方が多い。	今までより体を動かす機会を増やすことで、便秘の方が減る。	多くの方が集まる時間に、毎日10分程度、ラジオ体操を含め、体を動かす時間を設ける。	1か月
2	34・52	決まった場所にしか、温・湿度計及び時計を配置しておらず、全ての場所から、何かあった場合に早急の確認ができない。	目につく場所全てに温・湿度計及び時計(秒針付)を配置する。	各居室、トイレ、廊下等、どの場所からも目に入るように、温・湿度計と時計(秒針付)を配置する。(時計の音が気になる方の場合は、居室のすぐ外に配置する。)	1か月
3	35	災害備蓄の食料品が1～2日分程度しかなく、不安である。	災害備蓄の食料品を3日分以上準備しておく。	災害備蓄の飲料水、食品を最低3日分備蓄して、消費期限を記録しておき、随時交換する。また、その交換品を入居者の方々と食べ、その時に災害について話し合いをし、常に風化させないようにする。	3か月
4	13	毎月、確実にスタッフの勉強会が行われていない。(外部研修、外部研修報告を含む)	毎月、スタッフに対して勉強会を開催する。	毎月、月末に開催するスタッフミーティングの時間を利用して、その中で実施する。(内部研修、外部研修報告)	3か月
5	34	全てのスタッフが2～3年に一回、必ず救命救急講習を受講しているが、緊急時に確実に行えるか不安が残る。	緊急時には、どのスタッフも救急救命の行動が行える。	自主防災訓練時にも、救急救命の方法の練習を毎回行う。また、スタッフミーティングの時間(勉強会)にも、半年に一度は練習の時間を作る。	6か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。